



生活支援
コーディネーター
伊藤信子さん

今回はかなえが丘町内会の「元気塾」について紹介します。代表の菊地さんにお話を伺いました。



代表 菊地 大さん

かなえが丘「元気塾」

- 活動開始日：平成28年6月～
- 活動日：毎月第4(休)
- 活動場所：後楽集会所
- 参加費：無料
- 参加人数：町内会の15～20人
- 活動内容：体操、ダンベル運動、ゲーム、お茶会
(講師を招いて活動もしています)



▲みんな和気あいあいとゲームを楽しんでいます

元気塾を始めたきっかけは？

堅苦しい会合ではなく、体操やお茶飲みしながら雑談し、地域や住民の情報交換の場ができればと思いました。2～3回開催して好評だったので定例化しました。

続けられる秘けつは？

町内会から活動の助成を受けるなど、婦人部や健康推進員、町内会のバックアップがあったから続けられています。また、集会所まで来るのが大変な人を迎えに行くなど、皆さん参加できるように工夫しています。

活動を通して感じることは？

昔のような地域の繋がりがなく、必要性が感じられないという地域の声も聞きます。元気塾を通して繋がりができ、高齢者の集いの場としてだけではなく、参加者以外の地域住民の安否確認など、地域の情報交換や見守り、支え合いの役割も期待できるので、これからも元気に続けていきたいと思っています。

☎長寿社会課地域支援係 ☎364-1204

9月1日は防災の日です

地域の安全は、地域住民が互いに助け合って守る



過去の災害を教訓に防災の基本を再確認し、災害に対する備えを心掛けましょう。それと同時に地域の方々と助け合う「共助」で災害に備えましょう。災害から地域を守る活動を行っている3つの組織を紹介します。

1 自主防災組織

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成される組織で、市内の半数を超える町内会で結成されています。市から、ハザードマップの作成費用の助成や、世帯数に応じてヘルメット・担架・ジャッキなどの救助器具などの防災資機材を支給しています。

2 婦人防火クラブ

婦人防火クラブは、家庭から火事を出さないという目標で、女性の視点に立って防火活動に取り組む組織です。火災予防の呼びかけや消火コンクールへの出場など、防火に関するさまざまな活動を行っています。



津波防災センターにお越しくささい

マリゲート塩釜隣にオープンした「津波防災センター」では、東日本大震災の記録や防災に役立つ情報を展示しています。

開館時間 9:00～17:00

休館日 毎週(月)
(月が祝日の場合は翌平日)



3 消防団

火災発生時には消防署と協力しての消火活動、普段は訓練の実施や火災予防活動を行っています。また、地震や洪水などの災害では、避難誘導や救助活動などの役割を担っています。



☎市民安全課防災係 ☎355-6491